

齊藤北陸総合通信局長が南相馬市を訪問

～南相馬市長からの要請を受け、全国の避難者に向けて「南相馬チャンネル」の配信を目指す～



桜井南相馬市長らと会談

北陸総合通信局の齊藤一雅局長は、9月22日（水）福島県南相馬市を訪問し、北陸地域で映像配信している「南相馬チャンネル」の番組制作の現場や被災地の状況を視察しました。また、桜井勝延南相馬市長らと交え、今後の進め方について意見を交換しました。

桜井市長からは「南相馬チャンネルを全国に避難した市民に届け、南相馬に戻る原動力としたい」と全国配信に向けた支援要請がありました。また村田崇副市長は「原発事故の賠償関係が複雑だ、分かりやすい説明番組を作り市民に届けたい」と述べられました。

齊藤局長は「全国に避難しているすべての南相馬市民に、南相馬チャンネルを届けられるように全力で取り組みたい」と応じ、同チャンネルを運営しているヨーズマーの野口高志社長は「市民のニーズに応じたコンテンツの制作を進めたい」と抱負を述べました。

なお、北陸総合通信局では、8月31日（水）に「南相馬チャンネル」北陸地域映像提供実験支援協議会第1回会合を開催し、9月1日（木）から「南相馬チャンネル」の映像提供実験を開始しています。



南相馬チャンネル番組制作現場



南相馬市の被災地を視察



被災地に残された船舶